

再生医療国際拠点の設置に向けて

再生医療の普遍化を目指し、効率的推進/海外展開には、再生医療国際中核拠点が必要



再生医療国際センター(仮称)構想



再生医療国際センターに必須の要素

ヒトへの応用から産業化、世界展開まで一貫して実用化を推進する拠点として、 以下の要素を備えることが必須

1. 再生医療のヒトへの応用を実現

再生医療の叡智を結集/臨床研究・治験の実践

2. 産業化を推進

イノベーション創成向けた取り組み/国家戦略特区

3. 世界展開を実現

空港への抜群のアクセスビリティ/海外から人が集まってくる環境

世界に類のない再生医療国際拠点の形成

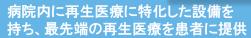
再生医療国際センターに求められる機能、特徴

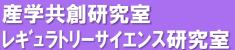
センターに必要な機能

センターの特徴

病院機能

臨床研究から治験への 移行と実用化を促過





産学共創で産業化に 向けた研究を推進 製品化に向けた審査 等の基準の確立



細胞バンク

細胞の安定した 供給と流通を目指す 再生医療データと連携



再生医療研究・臨床センター

再生医療を創像し、 世界に向けて再生医療提供の中心となる



【最大の課題】 病院設立・運営にあたって 巨額の費用、人材、設備、集客等が必要。 周辺病院等との兼ね合い。



社学連携

市民への情報公



世界に開かれた 国際拠点

空港へのアクセスが スムーズ 国内、海外から人の集まる

研究成果の海外展開など



ヤンター

複数の研究拠点 との連携

京都大学iPS細胞研究所 や理研CDB等の研究 拠点とのネットワーク

人材育成、教育

再生医療の研究・教育・育成の 実践の中心となり、再生医療技術の 維持、向上に貢献 実地訓練の為の細胞 加工施設を有する 再生医療トレーニング



